猫石

小保内峠の絶頂（皆瀬野球場、更生園に通ずる道路の左側の高台）にある猫が居眠りしている姿をした大きな石が「猫石」と呼ばれているもので、皿小屋の人々が猫石神社を建立している。

その昔、この猫が夜ごとに、あちらこちらと所定めずに鳴き歩いたため、付近の人々は一晩中眠ることができないばかりでなく、むしろ恐れ戦く思いであったという。このことから村人が語り合い祠を建てお祭りしたところ猫が鳴き歩くことがなくなったという言い伝えが残っている。

また、養蚕業の人々に信仰があり、数多くの参拝客があったといわれ、このことは、日光の眠り猫と同様であるともいう。